

公開特許公報と特許公報に載っている内容はすべてが同じではありません。しかし、基本的な部分では同じ項目が書かれていますので、ここでは公開特許公報を例に見方の説明をします。

(19) 日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A) (11) 特許出願公開番号
特開2005-253342
(P2005-253342A)

(43) 公開日 平成17年9月22日 (2005.9.22)

| (51) Int. Cl. ⁷ | F I | テーマコード (参考) |
|----------------------------|-----------------------|-------------|
| C 1 2 N 15/09 | C 1 2 N 15/00 Z N A A | 4 B O 2 |
| A 6 1 K 31/7105 | A 6 1 K 31/7105 | 4 B O 6 |
| A 6 1 K 31/711 | A 6 1 K 31/711 | 4 C O 8 |
| A 6 1 K 35/76 | A 6 1 K 35/76 | 4 C O 8 |
| A 6 1 K 48/00 | A 6 1 K 48/00 | 4 C O 8 |

審査請求 未請求 請求項の数 14 O L (全 11 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2004-68081 (P2004-68081)
(22) 出願日 平成16年3月10日 (2004.3.10)

(71) 出願人 303000034
学校法人 聖隷聖医科大学
東京都文京区千駄木

(74) 代理人 100091096
弁理士 平木 祐輔
100096183
弁理士 石井 貞次
100118773
弁理士 藤田 節
100111741
弁理士 田中 夏夫

(72) 発明者 水口 義昭
東京都文京区千駄木
医科大学内

(54) 【発明の名称】 ヒトチミジル酸合成酵素に対するRNAiとして作用するRNA配列

(57) 【要約】
【課題】 ヒトにおける広範な種の癌に有効な抗癌剤となり得る、新規TS抑制剤を提供する。
【解決手段】 ヒトのチミジル酸合成酵素を抑制するためのRNAi分子として作用するRNA配列を特定し、該配列を有するRNAおよびこれをコードするDNAを提供する。
【効果】 上記RNAi分子を細胞内に発現させることにより、TSの発現は抑制された。したがって、本発明のRNAおよびこれをコードするDNAは、新規TS抑制抗癌剤である。
【選択図】 なし

公開される際に付与される番号 (公開番号) が記載されています。

特許の権利範囲の数が記載されています。

発明の権利者 (出願人) が記載されています。

発明者が記載されています。

※書誌部分に入りきらなかった情報は全て、最終頁に続きが記載されます。

特許出願をした日付と出願の際に付与される番号 (出願番号) が記載されています。

発明の名称が記載されています。

発明の概要が記載されています。